



経営指針を創る会特集



経営指針を創る会特集
「創る会」で経営姿勢が確立できた
経営指針とは?
世界でも注目される
「理念」の大切さ!
第36期「経営指針を創る会」のご案内



「企業目的」達成のための自主的努力が求められます。実は圧倒的多数の企業は、「生業」です。地域の経済基盤を支えている大切なものです。しかし、そこに留まらず、「経営」へと脱皮・成長して行く企業も少なくありません。その場合にまず必要になるのが成文化された「経営理念」です。ぜひ「創る会」で「生業」から、「経営」へ歩み始めましょう。

▼社員には企業家の指示を待つよりも「企業目的」達成のための自主的努力が求められます。実は圧倒的多数の企業は、「生業」です。地域の経済基盤を支えている大切なものです。しかし、そこに留まらず、「経営」へと脱皮・成長して行く企業も少なくありません。その場合にまず必要になるのが成文化された「経営理念」です。ぜひ「創る会」で「生業」から、「経営」へ歩み始めましょう。

DoYu Now

第36期「経営指針を創る会」のご案内

「経営理念を軸とした指針経営」と「人間尊重の経営」が一層大切になってきています

産業の空洞化、少子高齢化、地域経済の疲弊、増税などによる国民購買力の後退など今後の経営環境は一層厳しさを増していくことが予想されます。そのような環境に負けず自社をたくましく維持・発展させていくためには、同友会が提唱する「経営理念を軸とした指針経営」と「人間尊重の経営」が一層大切になってきています。是非、滋賀県唯一の本格的な経営者の道場＝「経営指針を創る会」にご参加下さい。

「経営指針を創る会」とは

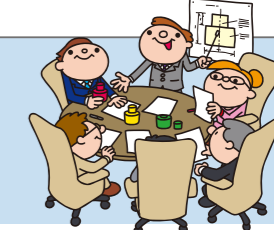
自社の経営の軸となる「経営理念」を策定し、「経営理念」を実現するための「方針」(戦略)、「計画」(具体的年度計画)とあわせて「経営指針書」を作成します。先輩経営者が手弁当で、お手伝いします。

日 程	2014年12月5日(金) 18:00～21:00	オリエンテーション 会 場:同友会事務局
	2015年1月23日(金) 10:00～24日(土) 12:00	第1講:社員との関係(労使見解)『経営理念検討シート』討論 会 場:ラフォーレ琵琶湖
	2015年2月21日(土) 10:00～17:30	第2講:何のために経営するのか?『経営理念』を深める 会 場:同友会事務局
	2015年3月14日(土) 10:00～17:30	第3講:外部・内部環境の分析から経営戦略づくりへ 会 場:同友会事務局
	2015年4月11日(土) 10:00～17:30	第4講:中期経営方針(戦略)の立案 会 場:同友会事務局
	2015年6月13日(土) 10:00～17:30	第5講:『経営指針書』をまとめる 会 場:同友会事務局
	2015年7月25日(土) 10:00～19:30	第6講:『経営指針書発表』最終討論・総括・懇親会 会 場:ラフォーレ琵琶湖

会場は予定です。都合により変更する場合があります。

費用 ●13万円(税別。会場費、食事代、資料代含む。全講受講が原則です。)

参加資格 ●滋賀同友会会員、または後継者 9名



参加お申込み用紙

第36期「経営指針を創る会」への参加を申し込みます。(FAX 077-561-5334)

支 部 _____	会社名 _____
氏 名 _____	E-mail _____
電 話 _____	FAX _____

「創る会」で経営姿勢が確立できた

経営戦略を考える上でのぶれない軸



株式会社ノセ精機
代表取締役 野瀬昌治氏
(第27期受講)

下請け脱却を目指して、がむしゃらにさまざまな手を打ち、そこそこ手ごたえを感じ

る中、従業員さんからは「社長はいつたいて何をやっているのだから？」という関係ないし、「

う？」という白けたムードが漂うようになっていました。「このままでは、誰も付いて来なくなるな

あ」と考えていたとき、「経営指針を創る会」に誘っていただき、半信半疑で参加しまし

た。参加してみても、世の中には悩める社長がたくさん居るこ

とがわかって、孤独感がかなり癒されたのを覚えています。また、それまで自分のことを考えるのに精一杯だったのです

が、従業員さんのこと、その家族のことを考えるきっかけを与えていただきました。

「創る会」で作成した「経営理念」は、当社のミッションとなり、その後の経営戦略を考える上でのぶれない軸となりました。経営者の仲間もたくさん

できて、たいへんありがたかったです。

自身を見つめ直すきっかけとして受講



株式会社 PRO-SEED
代表取締役 青柳孝幸氏
(第32-33期受講)

私が同友会に入会したのは、起業して10年を過ぎた2011年、従業員の相次ぐ退社、売上の減少等、多くの問題を抱えていた時期でした。その後自分自身を見つめ直すきっかけとして、経営指針を創る

社が同友会に入会したの

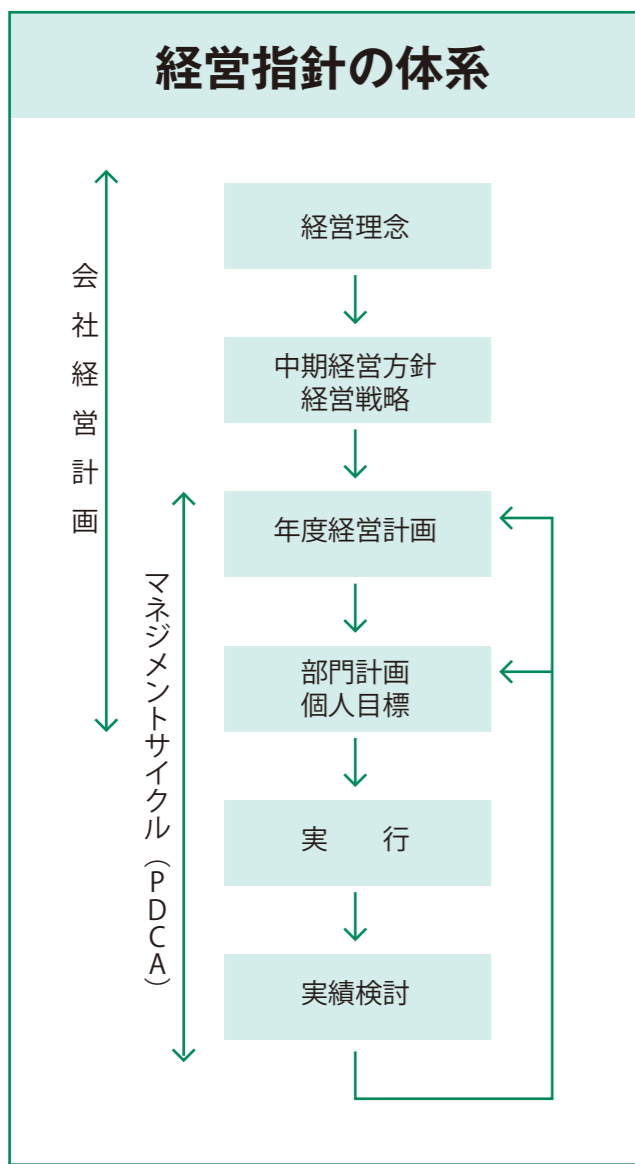
は、起業して10年を過ぎた2011年、従業員の相次ぐ退社、売上の減少等、多くの問題を抱えていた時期でした。その後自分自身を見つめ直すきっかけとして、経営指針を創る

経営指針とは？

「何のために経営するのか？」と言う、自社の存在理由を明らかにする「経営理念」は会社を単なる人の集まりから、生命力を持った有機体にするための「魂」のようなものと言えるかも知れません。しかし、「理念」が出来たから、会社が着実に変わって行くほど単純なものでもありません。「理念」の実現に向けて自

社の内部環境、外部環境などを分析し、適切な方針(戦略)を立てる必要があります。また、方針を立てただけで、実際には日常業務に忙殺されて、同じところをぐるぐる回っているだけでは会社は、一向によくならないと思います。このため同友会では「経営理念」+「中期経営方針(戦略)」+「年度経営計画」の3つを一体とし

て作成、実践することを推奨しています。この3つをまとめたものを「経営指針書」と呼んでいます。経営者をはじめ、全社員が常に「経営指針書」を意識して、それに基づき、業務、行動、思考を日々積み重ねることが「良い会社」になっていくための必須の条件だと考えています。



経営指針は創るところがスタートライン



株式会社 ジョーニシ
社長室 室長 中野裕介氏
(第34期受講)

私にとって、経営指針を創る

会「は、人間性を成長させてくれる場であり、これからの経営活動のスタートラインが引かれたトラックであると感じています。

なぜならば、誰かに押し付けられるのではなく、自分自身で必死に考え、導き出した「真」が理念であると教わった通り、時にはアドバイスを頂きながらも、私が本当に追い求めている「真」を経営指針として創るものであると理解したからです。

人は考え、苦労した先に新たな発想を生み出し、成長するものだと思います。しかし、

私にとつて、経営指針を創る

会「は、人間性を成長させてくれる場であり、これからの経営活動のスタートラインが引かれたトラックであると感じています。



人でやみくもに悩んでいては、閉鎖的な思考になりがちです。そんな時、創る会の先輩や同期生からのアドバイスで違った方面からの物の考え方を知ることができ、より深く自身自身の「真」を考えることができます。

今後ますます、ビジネス環境は変化し、働く人々の考え方も変化していくと思われま

す。そんな時にこそ自分自身の軸、そして会社の目指す姿としての理念が重要な意味を持つと思っています。創る会での経験が、これからの長い経営活動をスタートさせてくれたと感じています。

今後はますます、ビジネス環境は変化し、働く人々の考え方も変化していくと思われま

世界でも注目される「理念」の大切さ！

基本理念をしっかりとさせ、進歩を促す仕組みをつくるビジョナリーカンパニー

2001年に発行され、世界の経営者に大きな影響を与え続けている本があります。「ビジョナリーカンパニー」。業界で50年以上にわたって卓越し続け、尊敬し続けられている700社に上る企業を研究して来た二人のアメリカの研究者が書いた本です。そのポイントは書名のとおり「ビジョン(理念)に裏打ちされた会社」。2人の著者は、「自らの会社を成功し、尊敬し続けられる会社にするためには、何から始めればいいのか」という質問に対して、「基本理念をしっかりとさせ、進歩を促す仕組みをつくることである」と答えています。これらの会社は、市場環境

の変化などによって、戦略を変えることは躊躇しませんが、基本理念を変えることはありません。ビジョナリー・カンパニーといわれる企業が、卓越した地位を獲得できているのは、将来を見通す力が優れているからでも、成功のための特別な秘密があるからでもなく、単に自分自身の役割が明確で、そのレベルアップをめざし続けているという単純な事実のためなのです。世界でも注目される「経営理念」の力。ぜひあなたの会社でも取り組まれることをお勧めします。

